

# ザ・サマリア人

シリーズ～福音の力～

2020/04/26

## ルカによる福音書10章25～37節

すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」イエスが、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われると、彼は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」しかし、彼は自分を正当化しようとして、「では、わたしの隣人とはだれですか」と言った。

イエスはお答えになった。「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、追いはぎに襲われた。追いはぎはその人の服をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。ある祭司がたまたまその道を下って来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。同じように、レビ人もその場所にやって来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。』

さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」律法の専門家は言った。「その人を助けた人です。」そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」



# 律法学者とイエス様の問答

律法学者 何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。

イエス様 律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか

律法学者 『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。

イエス様 正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。

律法学者 <自分を正当化しようとして>  
では、わたしの隣人\*とはだれですか？

イエス様 善いサマリア人のたとえ（誰が隣人であるか？）

\*ユダヤ人は「隣人」とは同胞（ユダヤ人）のことだと考えていた

# 善いサマリア人のたとえ

- **けが人を見て見ぬふりをした祭司・レビ人**
  - エルサレムからエリコへ下る道で、追い剥ぎに襲われ、半殺しにされた人
  - 祭司が(神殿での務めを終えて)下ってきたが、「その人を見ると、道の向こう側を歩いて行った」
  - レビ人(神殿で働く人)も同じようにした
- **けが人を憐れに思ったサマリア人**
  - サマリア人はユダヤ人とは兄弟関係にあったが、犬猿の仲であった
  - しかし彼は「その人を見て**憐れ**に思」った
    - ・ **スプラグクニゾマイ**:内臓が揺さぶられるほど同情した

# けが人を介抱したサマリア人

- **傷の手当て**

- 「傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして」

- **宿屋への搬送・介抱**

- 「自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した」

- **身銭を切って助けた**

- 「翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。』」



# 隣人になる

## ● イエス様の質問

- 「この三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」
- 律法の専門家は言った。「その人を助けた人です。」そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」

## ● 神様が願っておられること

- 『隣人を自分のように愛しなさい』とは
- 相手が誰であろうと、困っている人に対して自分がしてもらいたいようにすること
- 隣人は選ぶものではなく「なる」もの



# ザ・サマリア人、イエス様

襲われた人	死に向かっている罪人（私たち）
祭司・レビ人	律法・旧約聖書
旅をしていた	神のもとから来られたイエス様
サマリア人	ユダヤ人たちから嫌われた
憐れに思った	イエス様は私たちが <b>憐れに思われた</b>
近寄って	イエス様の方から近づいて下さった

\* 3世紀の神学者オリゲネスの解釈を参考に

# ザ・サマリア人、イエス様

傷に油とぶどう酒	油： <b>聖霊</b> ぶどう酒： <b>十字架の血潮</b>
包帯をして	「贖う」とは覆い隠すこと
自分のろばに乗せ	イエス様はろばに乗せ エルサレムに入られた
宿屋に連れて	宿屋： <b>教会</b>
介抱した	<b>ともに</b> いて下さる
銀貨2枚を払う	ご自分の命という <b>贖いの代価</b> を払われた
帰りに払う	再臨の予告



憐れに思い  
近づいて下さった  
イエス様

瀕死の状態の  
私たち

油：聖霊  
ぶどう酒：十字架  
包帯：罪を覆う

ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに來ると、その人を見て憐れに思い、近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、



自分のろばに乗せ、  
宿屋に連れて行って介抱した。

教会での  
介抱



油：聖霊  
ぶどう酒：十字架





再臨の約束



贖いの代価

翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。』